

2 0 2 6 年 度

一般選抜 前期入学試験問題

〔 国 語 60分 〕

注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. マークシートへの記入は、必ずHB以上の鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶすこと。
3. 書き損じた場合には、プラスチック製消しゴムできれいに消すこと。
4. マークシートの用紙を、折り曲げたり汚さないこと。
5. 解答開始後、マークシートの所定欄に個人番号、氏名、科目名をはっきり記入すること。
6. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁がある場合や、問題について質問がある場合には、手を挙げて監督者に知らせること。
7. 解答終了の合図と同時にマークシートを机上に伏せること。
8. 問題冊子は回収するので持ち帰らないこと。
9. 不正行為があった場合には、受験したすべての科目の成績を無効とする。

記入例

良い例	悪い例
	

高 崎 商 科 大 学

【一】次の文章を読んで後の設問に答えよ。

人間のみが人間を教育するのではない。人間がつくる「もの」と人間とで構成する「世界」「環境」「具体的な社会」が実質的な教育をするという考えが成り立つ。つくり出したすべての「もの」が人間の意識や行動を形成し支配し構成するからである。テレビはその働きによって、人間（ヒト）の本性的部分に大きな影響を与える^アコウレイでもある。しかも現代における精神の自己ペット化は、まさにテレビを介して行なわれているのではないか。

テレビが人間の世界に入りはじめたとき、多くの人々はその功罪を論じた。しかし、もはや既定の事実となったとき、功罪を問う議論は消えた。しかし、テレビは依然として大きな影響力を人間社会に及ぼしつつある。なぜなら、テレビは家庭の中に入っていて、子どもとくに幼い子にとっては、もしかしたら母親以上に長くふれるものになっているからである。もう一つは、テレビは声を出し、今では色彩をもっていて、いわば動く顔をしている点である。つまりテレビは子どもをひどく惹きつける。

動物の視覚は、運動視といって動くものに強く引きつけられる。別の言い方をすれば、動かぬものにはあまり目は向かない。人間の赤ん坊もこの点ではほぼ同じだから、テレビの影響は赤ん坊の家族と同等かより以上である。もしかしたら、赤ん坊にとってはテレビの受像機全体が、人間―家族とは少し違う生き物と置き物の中間的な存在として、自分の世界に「あるもの」となっているだろう。声を出し人間の表情や体のように、眼を引かれる動く部分を備えた「ものだ」。ヒトの子が存在する世界の中に、人間そのものとは異なるが、たんなる「もの」とも異なる存在物として、人間（ヒト）の成育に関係する。いうまでもなく、赤ん坊の時代から、ふつうならばいやでもその世界に存在する特殊な「もの」なのである。

動物はその種のくらし場所の中で種社会をつくって生存していき、その子が種^イの個体と成る過程で、種社会と種のくらし場所に適合した行動形成を成しとげる。だから、動物の各種のくらし場所のあり方が、いかに大切なものなのかは、説明するまでもない。しかも哺乳類の多くは、自分の生活と生存に関わりのある「もの」はもちろん、おそらくは存在するすべて、つまりはその「世界」を認知して、自分の認知のレパートリー^イとするとみなされる。

現代は、子どもをとりまく状況に多くの新しいものを次々とつけ加えていくのだが、テレビはその中の大きな変化の一つであった。とくに色彩とその中の映像がさまざまな意味で実像の部分やエレメントを提示しているとみなせる以上、しかも長時間接しているので、精神形成のうえでの影響はきわめて大きいだろう。幼い子どもほど精神はまだ形になってはいない。なっていないからこそ、少なくともテレビが家庭に入るまでとはちがった精神形成をもたらすのではないかと考えられる。

この点は、またじつはテレビのもつとも恐るべき力であると思う。しかし、一般にテレビは人間（ヒト）の形成上の重要さよりも、報道などテレビ番組の内容が問題にされてきていた。もちろん、テレビが伝える内容も重大な影響力をもつものであるし、それと無関係ではあり得ないが、人間（ヒト）の認識のしかたの形成に関わる部分のほう^イが人間（ヒト）にとっては重大だと思われる。歴史性の^イケツジョ^イした思考、現代の子どものあきやすい性格を形成するのに一役買っているとみなせよう。移り気であり、集中力がなくなるように、トレーニングされているといわれる。これらはすべてでないにしても、確かであろう。

また、テレビによる「事実」「現場」の映し出しから、かえって直接体験への参加や事実を調べる能力の欠落が生まれる。^アこれは感性を衰弱させ、行動を鈍磨させ、認識内容を浅くして形骸化させてしまう。かくして精神のペット化を招く。知的探索はもちろん、じつさにさまざまな物事についての探検の精神を失わせる。事実の認識を含めて、事象を薄っぺらにしかとらえないのは、映像に真実を含めてしまう点からくるのではなからうか。

動物園のゴリラにテレビをみせる事態がおこった。中川上野動物園飼育課長（当時）の話では、西独の動物園でゴリラの退屈をまぎらわすのにテレビが使われたので、ノイローゼになったゴリラに、テレビをみせて刺激を与えてやりた^イいとかいうことだったように記憶している。動物が出てくると興奮をしたが、ニュースには関心を示さなかったという。

ゴリラがどのようにテレビの画面を認識しているかは、知りようがなく推論するしかない。たしか外国での実験例によると、チンパンジーは映画の中に登場してくるヒョウに恐怖を表わしたとか聞く。テレビはどうだろうか。テレビのヒョウに、心を動かされはしようが、恐怖を感じるにはいたらぬように思える。大きさもあろうし、臨場感という点では、テレビは画面のまわりをくらくしても、映画に劣るだろう。

イヌの医者か美容師のところで、待合室に豪華なカラーテレビがついてるとかいふニュースがあった。イヌたちは、画面をみているように思えはしたが、それは漠然とみているものとか考えられない。彼らに限らないが、多くの哺乳類は運動するものをみる。ふとみるのだ。

イヌの眼が、テレビにひきつけられるとすれば、そのせいであろう。その点には未知な点もあるが、大部分のイヌがほとんど色彩がシキベツ^ワできないのはたしかだ。カラーテレビは、イヌのためではなくて、つれてきた人々に好印象を与えるためか退屈しのぎの小道具にすぎなかったらしい。イヌの色盲を知っているの営業政策だろうか。

視覚を中心としてもをみる動物以外、テレビの像はほとんど無意味である。では視覚にたよる鳥はどうだろうか。大きなうえからは、けものよりも臨場感も生ずるであろうが、その内容を知ることが可能だろうか。

自然科学の論文や心理学の報告でもないので、ここは省略をゆるしてもらおう。要するにテレビの中に、遠近や立体感を感じるには、視覚プラスアルファが必要である。サツカク^エでそうみるよりも「頭」でみることだ。つまり、構図やカメラアングルなどにより描き出された場面から、同じ大きさのはずの人物の大小にもとづいて遠近などを読み取るわけだ。知ってのせられるサツカクに似ている。それが「頭」で「みる」というところだ。したがって抽象思考が充分でないし、場面に類似した場の経験のない動物に臨場感を与えられまい。

かりにテレビで動物をみせても、テレビに出る動物が実物大でないがゆえに、みているほうの動物には、それが天敵であつたとしても見分けられないのがふつうである。動物たちは精密な形や斑紋などを知るのではない。ある大きさの形や色彩などが信号であり、その他の信号はいろいろであるが、具体物の形、とくに大きさが重要である。同一種に対してはもちろん、天敵に対しては大きさは決定的だ。大きくなければ恐ろしくはなく、また形や斑紋にしてもその動物の種に対する信号として働かなくては意味はない。人間のようにミニチュアセットから現物を類推する力は、視覚にたよっている高等な種の中においてもあるかないかであろう。あるいは、漠然とした感覚を呼びおこすにすぎまい。実験をしたわけではないが、以上のように推測してまずまちがいはあるまい。一口に動物といってもいろいろであるが、かなり高次な鳥類、哺乳類でも同様だろう。それ以外で反応するのは、テレビの画像内の光やその他が部分的に影響して引きおこす反応と思われる。

以上長々と述べたが、動物と人間の認識のちがいを確認したうえで、テレビから人間が受けとるものが問題になる。人間はテレビ内から知らず知らずに何かを読みとつてもいるし、テレビの画面を通して、人間の顔などから気性や生理的状态を知ることさえできる。画面にクローズアップされた顔は、年齢をかなり隠しようもなく示しているし、時に疲労を表わしていたりするうえに、その人間の気性さえもにじみ出してくるようだ。舞台の上ではなおのこと、映画でも時々かなりの年齢の女優が若い役を演ずるのは、それなりにかえってよい面もあるが、テレビでは相当に^Bムリになる。セットの貧弱さや小ささは、視聴者がそれを正当な大きさにみてくれるということにたよっている。水も入っていないオチョコや形だけの荷物も、リアルに写されながら、約束ごとによって、しぜんに許容してもらっている。この「頭」にたより、一部はリアルなことが、大きさを見取るときには裏目に出る。いつも思うことだが、よく最近登場してくるアフリカの自然や動物のスケールは、どうしても日常的経験で逆に見取ってしまう。たとえば、アフリカのケニア、ツアボ国立公園にある多くの丘は、形はいわゆる丘だが、その一個一個は日本の大きな山に匹敵する。しかし、その大きさは伝わらない。また、一個でプラットホーム一つぐらいは充分にある巨石もまた、アフリカに多いのだが、これも日本の大きな石程度以上には画面からはみてとれない。筆舌にはつくし得ないとは、このようなときの表現だと、ただただ実感するのである。

このように、テレビが「頭」でみるものであるがゆえに、逆にいえばテレビは茶の間に「真実」をもちこみ得ないともいえる。遠く広く世界の実態を伝えようとしてもまた、日常的認識を超え得ないのである。それがテレビの日常性である。テレビに収容^レされているこのような「事実」は、逆にまた見る人間の意識の形成に大きな役割を果たすだろう。テ

レヴィがある時代以前に「世界」を経験していた世代と、テレビが茶の間に常置されてから生まれた世代とでは、みえるものがちがってくる。大げさにいえばそういうえよう。

よく一般に情報の伝達という面からのみ、テレビとラジオとを同一視する。しかし、筆者にいわせれば、ヒトに対する影響には格段の差がある。まず聴覚を介しての伝達と、視覚によるそれとは大きなちがいがあ。情報のたんなる伝達ということよりは、それによる表象や認識形成媒体としての差である。ラジオのそれは、個々の人間自身のもつ世界に明確に基盤を置く。

テレビのそれも経験範囲ではむしろそうだが、範囲外ではむしろ具体的にそこでイメージをつくってしまふ。もちろんそれまでの類似の経験にもとづいてではあるが、像が具体的実際であればあるほど「虚像」をつくりやすい。ヒトは、もつとも主要な具体的な感覚世界、ひいては認識の世界の構成を視覚にたよっている。この点で抽象化された像などは、主にコトバによってつくられるが、具体的なものは、多くは視覚による。そのためテレビではかえってイメージは貧困になる面がある。

すべての哺乳類は、もつとも発達した感覚と、それに次ぐ感覚をもつ。多くは嗅覚と、次には視・聴覚だ。触覚や味覚はまたそれなりに発達しているが、ものを知るというのには範囲が限られている。サル類すなわちヒトも含める霊長類は色覚の発達もよく、視覚を双眼視にもとづく距離感などのうえでも発達させ、その分化も進んでいる。それが知的能力と結びついてもいる。人間では構造的な認知、そして概念と結びついて、外界について知ることを深めていくのである。

テレビをみるとき、誰のことばかは知らないが、電気紙芝居とか擬似的世界といったような表現は、実物経験が先行している世代でのことであり、幼児時代から認識形成にテレビを使うならば、認識における影響は主客転倒する可能性があると思う。その影響は、画一化とかいった情報の質の問題ならば、それをないがしろにしてよいというのではないが、むしろ新聞やラジオとほぼ同格であろう。しかし、表象から具体的認識の形成のしかた（心理学的にはもつと適切なことばもあるが）に関連する、認識の内容に与える影響で質的差があるといいたい。

幸いなことに、いかに幼児にテレビが大きな影響があるといっても、ほかの「実物」がまだ存在している。そこでテレビの像が完全に実像とはならない。しかし、日常的な経験を超えた部分では、テレビの虚像が実像化する危険はつねにある。

新聞紙上などの話と聞くが、ある子どもが父親に死んだカブトムシをみせて、早く電池を入れかえてくれとせがんだとか。もはや現代の都会児の世界では、電気カブトムシが実像化しているのを示しているといえよう。それに類似したことが、扱いようではテレビの世界から生じてくるのではあるまいか。

一方、テレビはまたそれなりにいつそう実像を伝えようとする。ここでとくに思い浮べるのは、いわゆるドキュメンタリーである。一般にテレビの良い点として、こういった番組があげられる。たしかに一面ではそうである。しかし、すべてにそうであらうか。

筆者の研究室には、テレビカメラがある。飼育している野生動物の実態をみるのに、人間の直接的観察ではうまくいかないばあい、また人間がいることが影響しそうなばあい、彼らの行動を映し出し記録するのに役立つ。じつさに、小動物の実態を「たしかに」描き出しはいる。

だが、あくまでもこれは、当研究室にいるタヌキやハクビシンといった野生動物の実態の観察の「補助的」な役割である。たとえ使用時間が長くても、動物本体の実態を知っていて使うものだ。いわば、本体の一部分を拡大したり縮小したり、限られた形で使うのである。

テレビの野生動物をみてみると、かりに野生で写されても野生動物が野生の生活場所においては、やはり小さく写されているし、動きは限られている。長い間ねそべったままでいる彼らの別の実態などは写されていない。科学映画ではないからと担当者はいうだろうが、野生動物の実態から離れた虚像がつくられる怖れがある。人間の生活についてならば、もし適確に部分を描けばそれなりに意味はあろう。シンジヨ^オに入るところを描けば、長々とねている時間を描く必要は特別なばあい以外はないと思われる。しかし、野生動物ではそうではない。一般に知られていないからこそそうである。

問一 傍線部ア～オに相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選び、その番号を解答欄に記入せよ。解答番号は①～⑤。

(ア) コウレイ

①

- ① 劇場でのコウカイが待ち遠しい。
- ② コウカンが持てる人物だ。
- ③ コウドな技術を使った建築。
- ④ コウシャの二階教室。
- ⑤ 過酷な労働条件のコウジョウ。

(イ) ケツジョ

②

- ① 食料がケツボウしている。
- ② ケツロンがもうすぐ出る。
- ③ ケツダンを迫られる。
- ④ カンケツに述べてほしい。
- ⑤ ゴウケツと言われた武士がいた。

(ウ) シキビツ

③

- ① ニンシキを新たに作る。
- ② シキサイ豊かな場所だ、
- ③ シキジョウの下見をする。
- ④ ザシキに案内される。
- ⑤ 屋上からのケシキは最高である。

(エ) サツカク

④

- ① このカクドからだ見えにくい。
- ② 絶対に成功させるカクゴを持っている。
- ③ カクジが持ち場についた。
- ④ カクスウの多い漢字を書く。
- ⑤ 販路をどんどんカクダイする。

(オ) シンジョ

⑤

- ① シンケンに取り組む。
- ② 契約をコウシンする必要がある。
- ③ あの人にはシンシだ。
- ④ そろそろシュウシン時間だ。
- ⑤ シンライされるように行動する。

問二 傍線部 A「これ」は何を指すか。次の①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。解答番号は⑥。

- ① 色彩とエレメントを提示すること。
- ② テレビ番組の内容を問題にすること。
- ③ 子どもの飽きやすい性格を整形すること。
- ④ 集中力がなくなるようにトレーニングすること。
- ⑤ テレビが「事実」や「現場」の映し出しをすること。

問三 傍線部 B「テレビでは相当にムリになる」とあるが、「ムリ」である理由として最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。解答番号は⑦。

- ① テレビでは細かい部分まで撮影することができないから。
- ② テレビではセットが貧弱すぎるから。
- ③ 人間はテレビを通して様々なことを読み取ることができてしまうから。
- ④ テレビを通してでは臨場感が出ないから。
- ⑤ 舞台や映画のような迫力が出せないから。

問四 傍線部 C「テレビとラジオとを同一視する」とあるが、テレビとラジオを言い表しているものとして最も適当なものはどれか。次の①～⑤から最も適当なものを一つ選べ。解答番号は⑧。

- ① テレビは情報の伝達に時間がかかるが、ラジオは迅速である。
- ② テレビは遠く広い世界のことまで伝達することができるが、ラジオは近い世界のことしか伝達できない。
- ③ テレビは個人的な存在であるが、ラジオは個人以外にも届く存在である。
- ④ テレビの情報は無意味なものが多いが、ラジオは有用な情報が多い。
- ⑤ テレビは視覚に頼って世界を構成することになるが、ラジオは人間自身のもつ世界に基盤が置かれている。

問五 傍線部D「『虚像』をつくりやすい」とあるが、なぜ、テレビが「虚像」をつくりやすいと筆者は考えているのか。次の①～⑤から最も適当なものを一つ選べ。解答番号は 9。

- ① 人間の経験は類似の経験に基づいてイメージ化するから。
- ② 霊長類は色覚が非常に発達しているから。
- ③ 幼児の時代から人間がテレビに親しんでいるから。
- ④ 現代の都会児では、実物に触れる機会が少なくなっているから。
- ⑤ テレビのドキュメンタリー番組が精巧に作られすぎているから。

問六 次の①～⑤について、問題文の論旨と合致しないものを次の①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。解答番号は 10。

- ① テレビは単なる物体であるので、子どもの精神形成にまで影響を与えることはない。
- ② 人間は動物とは異なり、テレビを通して様々なことを読み取ることができる。
- ③ テレビから現物を類推することは視覚に頼る高等な動物にしかできないことである。
- ④ テレビとラジオでは人間に対する影響に大きな違いがある。
- ⑤ テレビのドキュメンタリーを見ても、動物のすべてを知ることとはできない。

【二】次の文章を読んで後の設問に答えよ。

近代資本主義の枠組みのなかで、もはや覇権国の交替はありません。

中国が次の覇権国になるとの見方もあるのですが、近代化のプロセスを忠実にたどっている限り、覇権国にはなりえないのです。覇権国とは近代の主権国家体制のなかでの概念であって、近代が終わるとすれば、次の覇権国は存在しないからです。

ここまで見てきたように、資本主義を延命させる「空間」はもうほとんど残されていません。中国が一時的に経済成長のトップに躍り出ても、そう遠くない将来、現在の先進国と同じように「利潤率の低下」という課題に直面することになります。その時点で、二一世紀の「空間革命」は終焉を迎え、近代資本主義は臨界点に達することでしょう。

資本主義のあとに、どのような社会・経済システムが生まれるのかはまだわかりません。中世から近代への移行期が「長い一六世紀」（一四五〇～一六四〇年）であったように、それまで数世紀にわたって続いたシステムが一夜にして変わるなどできません。

ヨハン・ホイジンガは著書『中世の秋』でこう言っています。「新しい時代がはじまり、生への不安は、勇気と希望に席をゆずる。この意識がもたらされるのは、やつと一八世紀にはいつてのことである」。

一六四八年に締結されたウエストファリア条約が政治的には近代の起点であるのですが、人々が次の時代に確信をもつのは、五〇年以上後のことです。しかも、ポスト近代の起点はまだ確定できていないのです。

我々の生きる「長い二一世紀」（一九七〇年～）も「長い一六世紀」と同じ状況にあると考えられます。

しかし、こうした難しい転換期において日本は新しいシステムを生み出すポテンシャルという点で、世界のなかでもっとも優位な立場にあると私は考えています。

その理由は、逆説的に聞こえるかもしれませんが、先進国のなかでもっとも早く資本主義の限界に突き当たっているのが日本だからです。^A いちはやく日本が資本主義の限界を迎えていることは、一九九七年から現在に至るまで、超低金利時代がこの国で続いていることが立証しています。

資本主義は一九七〇年代半ばを境に「実物投資空間」のなかで利潤をあげることができなくなったのですが、そのことを裏付けるデータは、近代の先頭を走る日本においてもっとも見つけることができます。

たとえば、日本の交易条件が大きく改善したのは、データが存在する戦後のなかでは、一九五五年から七二年までです。あるいは、日本の一人あたり粗鋼消費量がピークをつけたのは一九七三年度（〇・八三四_t）でした。バブルのピークだった九〇年度でさえも〇・八一六_tと、七三年度の水準を超えていません。

鉄の消費量は近代化のバロメーターですから、それが横ばいで推移しているのは、この四〇年にわたって、日本の内なる空間で需要が飽和点に達している証拠です。いわば近代社会を特徴づけていた大量生産・大量消費社会が一九七〇年代半ばにピークを迎えたことになります。

一九七三年度に、日本の中小企業・非製造業の資本利潤率が九・三%でピークを付けたのも同じことを示しています。中小企業・非製造業は基本的には営業基盤を国内におきますから、その資本利潤率が日本国内における資本利潤率を代表すると考えて差し支えありません。

中小企業・非製造業の利潤率が七三年にピークをつけたという事実、その時点で国内において拡大路線が終わったことを示唆しているわけです。

さらに一九七四年は日本の合計特殊出生率が総人口を維持できる限界値である二・一を下回った年でもあります。これ以後、出生率は現在に至るまで、二・一を回復するどころか低下し続けています。このようにあらゆる指標が「地理的・物的空間」の膨張が止まったことを示唆しています。

このように、日本では一九七〇年代半ばに「地理的・物的空間」の縮小傾向が明らかになりました。しかし、これは日本だけに限ったことではなく、先進国に共通して見られた傾向でもあります。^B ¹⁷、なぜ先進国のなかで日本がいち早くバブルを経験したのが、日本の先行性を読み解く鍵になります。そのために八〇年代の日米の経済の違いを考えてみましょう。

第一章でも説明したように、「地理的・物的空間」の限界に突き当たったアメリカは、金融帝国化に舵を切っていくわけですが、当初は国際資本の自由な移動が不完全であると同時に、交易条件悪化の負荷をもっとも強く受けていたため、一九七〇年代から八〇年代は停滞を余儀なくされました。

ウォール街では、一九七〇年代におよそ一〇年にわたってNYダウ平均株価が上昇しなくなったのです。一九七二年一月から七三年一月まで三カ月の間一〇〇〇ドルを超えていたのですが、その後一九八二年二月まで一〇〇〇ドルの壁を超えられませんでした。こうした状況を受けて、一九七九年八月、アメリカの経済誌ビジネスウィークがカバー・ストーリーで「株式の死（ザ・デス・オブ・エクイティーズ）」と題した特集を組んだほどです。

一方、日本は、省エネ技術によって二度のオイル・ショックを乗り切り、一九八〇年代に入ると、自動車と半導体の生産によって「ジャパン・アズ・ナンバーワン」を誇るようになります。

実際、日本の省エネ小型車はアメリカのビッグスリーの一角を追い詰め、半導体の生産金額では一九八六年〜九二年まで世界一に君臨し、四〇%のシェアを誇りました。いわば、日本はわずかに残された「実物投資空間」を制して、世界一の経済大国にのし上がったのです。

18、近代延命レースのトップを走ったがゆえに、資本主義の臨界点に達するのにも早かった。その証が一九八〇年代のバブルです。

金融バブルの発生には、次のふたつの条件を満たす必要があります。第一の条件とは貯蓄が豊かであることに加えて、時代が大きく変わるようなユーフォリア（陶酔）があること、そして第二の条件は、「地理的・物的空間」拡大が限界を迎えてしまうことです。

一九八〇年代の日本の個人貯蓄率は年平均で約一三%と高く、また、「首都改造計画」や地方のリゾート開発ブームで、「土地は値上がり続ける」というユーフォリアも醸成されていました。

一方、第二の条件としての「地理的・物的空間」の膨張が止まったのも日本が最初でした。日本は中間層が七割を占める社会をつくることに成功し、消費行動が似ていたため、乗用車やテレビなど財の普及率が早いスピードでおおむね一〇〇%に近づき、飽和点に達しました。

19、少子化が先進国のなかでもっとも早く進行したことで、成長が問題解決の決め手にならない領域に真っ先に突入したのです。

こうして金融バブル生成のふたつの条件を満たした結果、実物経済とはかけ離れた資産価格の高騰、すなわち土地バブルが日本で起きたわけです。

このように考えれば、日本でバブルが欧米より先行して生じた理由もわかります。つまり、バブル生成の十分な条件が日本国内で欧米に先駆けて整っていたし、「地理的・物的空間」の膨張が止まったのも日本が最初だったということです。

欧米でも長期金利が一九八〇年代初頭にピークに達したことから、近代資本主義経済における「地理的・物的空間」の拡大による利潤増大はできなくなっていたものの、金融バブルを引き起こす条件はまだ整っていませんでした。

当時のアメリカは個人貯蓄率が低く、財政と経常収支の双子の赤字に悩まされており、日本のような金融バブルが生成する十分な条件がそろっていませんでした。一九九〇年代後半、国際資本の完全自由化を実現させて、ようやく過少貯蓄の国・アメリカは過剰貯蓄の国・日本をはじめとして世界の貯蓄を利用できるようになったのです。

こうしてバブルの条件が整うと、ITバブル、住宅バブルとアメリカ金融帝国でも立て続けにバブルが引き起こされていくようになりました。

ところで、金融の自由化や貿易の自由化はグローバリゼーション礼賛者がよく言う「ウイン・ウイン」の関係にあるわけではありません。元来、自由貿易からして貿易がお互いに利益をもたらすというのはごく限られた条件でしか成立しないのです。

たとえば、イギリスは一八世紀半ばからインドを支配下において、インドから綿花を輸入していたのですが、そのインドの一人あたりGDPは一七〇〇年に五五〇ドル（一九九〇年国際ドル、インフレと為替変動を調整した後の数字）でした。ところが、大英帝国の絶頂期だった一八七〇年には五三三ドルへと減少しているのです（Angus Maddison.

ウォーラーステインは『近代世界システムⅣ』で自由主義者について次のように指摘しています。「自由貿易は、じつさい、もうひとつの保護主義でしかなかった。つまり、それは、その時点で経済効率に勝っていた国のための保護主義だったのである」。そして、「自由主義は、最弱者の者と自由に競争でき、抗争の主役ではなく、犠牲者であるにすぎないか弱い大衆を搾取できる完璧な力を、最強の者に与えたかったのである」と。

金融の自由化も同じ考え方で実施されたのです。現代の「新自由主義者」たちは一九世紀の自由主義者の後継者なのですから、最弱の貧者は自己責任で住宅を奪われ、最強の富者は公的資金で財産は保護されたのです。

このように歴史の危機において繰り返し起きる金融バブルを景気循環のなかでの一過性のものだと思込んでいる限り、資本主義の本質を見ぬくことはできません。

[20] バブルとは、資本主義の限界と矛盾とを覆い隠すために、引き起こされるものだからです。

資本主義の限界とは、資本の実物投資の利潤率が低下し、資本の拡大再生産ができなくなってしまうことです。たとえば、工場を建てて一〇年で回収して得られる利潤率や、オフィスビルや住宅を建築して三〇年で得られる利潤率が著しく低下し、投資家や資本家はもはや実物経済では稼げない。そのため、土地や証券といった「電子・金融空間」にマネーを注ぎ込み、バブルを引き起こすことで、資本主義が正常運転しているかのような偽装を図るのです。

しかし、「地理的・物的空間」での利潤率低下を覆い隠そうとしてバブルに突入したという点で偽装ですから、すぐにその矛盾はバブル崩壊という形で露呈します。

バブルが崩壊すれば二年間分のGDP（雇用者報酬と企業利潤の合計）の成長を打ち消して有り余るぐらいに信用収縮が起き、名目GDPが縮小します。そして、バブル崩壊の後に待っているのが、賃金の減少や失業です。それに対処するという名目で国債の増発とゼロ金利政策が行われ、超低金利時代と国家債務膨張の時代へと突入していきます。

利潤極大化を最大のゴールとする資本主義は、自らがよって立つ原理、すなわち、資本の自己増殖のためにバブル経済化も厭わないことによって、超低金利というさらなる利潤率の低下を招いてしまうのです。

一九九一年のバブル崩壊後の日本は、長期停滞と同時にグローバリゼーションの波にも巻き込まれていくことになりました。一九九五年に国際資本の完全移動性が実現すると、資本は国境を越えて、利潤の極大化を目指すようになりました。

ただでさえバブル崩壊不況に陥っていた日本は、この金融グローバリゼーションに巻き込まれることで、より一層、資本主義の矛盾を露呈させていくのです。

[21] バブル生成とその崩壊も、グローバリゼーションも、もとをたせば一九七〇年代半ば以降のフロンティアの消滅に起因していることから、日本は先進国グループに先立って、資本主義の最終局面を迎えることになったわけです。

その顕著な現象は、「利子率革命」によって引き起こされる「景気と所得の分離」です。日本では一九九〇年代後半から実質賃金の低下が始まりますが、それがバブル崩壊だけによるものならば、景気回復とともに賃金水準も回復していくはずですが。

しかし、現実には二〇〇二年から二〇〇八年にかけて、戦後最長の景気回復があったにもかかわらず、賃金は減少しました。そして日本だけでなく、英米でも同様に、景気と所得との分離が確認されています。

したがって資本主義の最終局面では、経済成長と賃金との分離は必然的な現象なのです。換言すれば、このままグローバル資本主義を維持しようとすれば、「雇用なき経済成長^E」という悪夢を見続けなければならないということです。

そのことを雄弁に物語るのが、一九九〇年代後半以降の日本の労働政策です。一九九九年には労働者派遣法が改正され、製造業などを除き派遣対象業務の制限が撤廃されました。二〇〇四年になると、製造業への派遣も自由化されます。

資本の絶対的優位を目指すグローバリズムにとっては、人件費の変動費化を実現するには労働市場の規制緩和は不可欠だったのです。グローバリゼーションに対応して生産拠点を海外に容易に移せるようになった大企業と、企業のように容易に働く場所を変えられない雇用者の力関係を考えるとわかるように、労働市場の規制緩和は総人件費抑制の有力な手段として独り歩きするようになったわけです。

労働市場の規制緩和は本来、労働の多様化の要請に応じて導入されたものです。すなわち、半年間だけ働きたいとい

うような人に柔軟な労働機会を提供する、労働者に便宜をはかるものだったはずなのですが、企業は利潤が低下するとバブル経済に依存を強め、そのバブルが崩壊すると、企業リストラのために、派遣社員の大量の雇い止めを実施したのです。

どんな立派な法律も、為政者が時代認識をしつかりともっていないと、その立法趣旨とかけ離れて利用されてしまうのです。

（水野和夫『資本主義の終焉と歴史の危機』）

問一 傍線部 A 「いちはやく日本が資本主義の限界を迎えている」とあるが、その理由として**適当でない**ものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **11**。

- ① 70年代半ばに大量生産、大量消費社会がピークを迎えているから。
- ② 国内における拡大路線が終わっているから。
- ③ 出生率が下がり続けているから。
- ④ 日本のうちなる空間での需要が飽和点に達しているから。
- ⑤ 中国が次の覇権国になるから。

問二 傍線部 B 「なぜ先進国のなかで日本がいち早くバブルを経験したのか」とあるが、その条件として**適当でない**ものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **12**。

- ① IT技術によって二度のオイル・ショックを乗り切ったから。
- ② 個人の貯蓄率が高かったから。
- ③ 中間層が七割を占める社会をつくることに成功したから。
- ④ リゾート開発ブームが起こり、土地の値段が上がり続けると皆思ったから。
- ⑤ 乗用車やテレビなど、消費の方法が似通っていたから。

問三 傍線部 C 「金融の自由化」とあるが、それによって生じた対応について**適当でない**ものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **13**。

- ① 最弱の貧者は住宅を保障される。
- ② 最強の富者は公的資金で財産は保護された。
- ③ 経済効率に勝っていた国のための保護主義。
- ④ 最弱の者と自由に競争できるようにする。
- ⑤ 大衆を搾取できる完璧な力を、最強の者に与える。

問四 傍線部 D 「バブル崩壊という形で露呈します」とあるが、バブル崩壊が起きると生じる現象について次の①～⑤のうちから最も**適当なもの**を一つ選べ。解答番号は **14**。

- ① 土地や証券といったものに資金を投じるようになる。
- ② 有り余るほどのGDPが生じる。
- ③ 賃金の減少や失業が多発する。
- ④ 国債の縮小と金利を上げるようになる。
- ⑤ 公的資金で財産を保護する。

問五 傍線部 E 『雇用なき経済成長』という悪夢」とあるが、どのような状態を指すのか。次の①～⑤のうちから最も**適当なもの**を一つ選べ。解答番号は **15**。

- ① 実物経済とはかけ離れた資産価格の高騰が起きる状態。
- ② 資本の拡大再生産ができなくなる状態。
- ③ 利潤率の低下が招かれてしまう状態。
- ④ 資本が国境を超えて利潤を追い求めるようになる状態。
- ⑤ 経済成長と賃金との分離が生じている状態。

問六 本文の要旨として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **16**。

- ① 日本は今後も「地理的・物的空間」の膨張が拡大する傾向にある。
- ② 自由貿易は貧者と富者が平等に取引するために実施された。
- ③ 投資家や資本家が実物経済にマネーを注ぎ込むことで、バブル経済が引き起こされる。
- ④ 日本は先進国としては、最後に資本主義の最終局面を迎えることになった。
- ⑤ 経済を成長させるためのいかなる法律も、時代に合っていないものであれば、その趣旨と異なって利用されてしまう。

問七 **17**～**21**に入る接続詞をそれぞれ選択せよ。解答番号は **17**～**21**。
ただし、接続詞は一回しか用いることができない。

- ① しかし
- ② また
- ③ なぜなら
- ④ つまり
- ⑤ したがって

【三】次の設問に答えよ。

問一 (1)～(4)の語句の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は22～25。

(1) 一攫千金 22

- ① 一目ではつきりとわかるさま。
- ② 一つの行為で二つの利益を得ること。
- ③ 物事を命がけでやること。
- ④ 一時に大きな利益を得ること。
- ⑤ 罪人などを全員捕まえること。

(2) 七転八倒 23

- ① 自分でしたことに對する悪い報いを自分で受けること。
- ② 極めて危険な目に遭いそうな状態。
- ③ 心が強くしつかりしていること。
- ④ 幾度も転んだり倒れたりして、もがき苦しむこと。
- ⑤ 絶望状態にあることを再び盛り返らせること。

(3) 浅学非才 24

- ① 最初から最後まで一つの考え方で貫き通すこと。
- ② 道理に従って善悪を判断すること。
- ③ 少しの違いはあってもほぼ同じこと。
- ④ 大きなことを言い、大ぼらを吹くこと。
- ⑤ 学識が身についていないこと。

(4) 万古不易 25

- ① 日ごと月ごとに進歩すること。
- ② 永久に変わらないこと。
- ③ 一人で何人分もの活躍をすること。
- ④ 困難にあっても志を固くもち、ひるんだり、屈したりしないこと。
- ⑤ 何も手を加えず自然のままにすること。

問二 (5)～(8)の選択肢のうち、間違った漢字を含むものを次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は26～29。

(5) 26

- ① 旧態以前
- ② 起死回生
- ③ 群雄割拠
- ④ 綱紀肅正
- ⑤ 時期尚早

(6) 27

- ① 百發百中
- ② 不和雷同
- ③ 油斷大敵
- ④ 羊頭狗肉
- ⑤ 臨機応変

(7) 28

- ① 勇猛果敢
- ② 和婚漢才
- ③ 傍若無人
- ④ 百花繚乱
- ⑤ 本末転倒

(8) 29

- ① 抱腹絶倒
- ② 未来永劫
- ③ 竜頭蛇尾
- ④ 夢味乾燥
- ⑤ 美辞麗句

問三 (9)～(12)のことわざ・慣用句について、意味を踏まえながら①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は30～33。

(9) 30 から火が出る…たいそう恥ずかしい思いをすること。

- ① 顔
- ② 頭
- ③ 手
- ④ 足
- ⑤ 腕

(10) 捕らぬ 31 の皮算用…不確かなことに期待して計画すること。

- ① 狐
- ② 犬
- ③ 猫
- ④ 牛
- ⑤ 狸

(11) 32 に銘じる…深く心に留めて忘れないようにすること。

- ① 心
- ② 脳
- ③ 肝
- ④ 腹
- ⑤ 耳

(12) 寝た 33 を起こす…既に決着していた問題を蒸し返すこと。

- ① 虎
- ② 師
- ③ 狼
- ④ 子
- ⑤ 仏

入学試験解答用紙 共通

氏 名				
科目名 ※受験する科目にマークすること				
国 語	英 語	日本史	世界史	公 民
0	0	0	0	0

記入上の注意
1. 記入は、必ずHB以上の鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶすこと。
2. 書き損じた場合には、プラスチック製消しゴムできれいに消すこと。
3. 用紙を、折り曲げたり汚さないこと。

記入例

良い例	悪い例

個人番号		m a j
	1	2 3 4 5 6 7 8 9 0
	1	2 3 4 5 6 7 8 9 0
	1	2 3 4 5 6 7 8 9 0
	1	2 3 4 5 6 7 8 9 0
	1	2 3 4 5 6 7 8 9 0

解答番号	解 答 欄
1	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
3	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
5	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
6	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
7	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
8	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
9	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
11	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
13	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
14	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
15	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
16	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
17	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
18	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
19	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
20	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

解答番号	解 答 欄
21	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
23	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
25	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
26	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
27	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
28	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
29	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
32	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
34	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
35	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
36	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
37	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
38	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
39	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
40	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

解答番号	解 答 欄
41	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
42	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
43	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
44	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
45	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
46	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
47	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
48	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
49	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
50	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
51	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
52	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
53	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
54	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
55	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
56	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
57	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
58	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
59	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
60	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

解答番号	解 答 欄
61	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
62	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
63	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
64	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
65	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
66	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
67	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
68	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
69	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
70	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
71	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
72	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
73	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
74	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
75	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
76	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
77	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
78	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
79	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
80	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
81	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
82	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
83	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
84	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
85	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
86	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
87	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
88	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
89	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
90	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

解答番号	解 答 欄
91	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
92	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
93	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
94	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
95	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
96	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
97	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
98	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
99	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
100	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
101	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
102	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
103	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
104	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
105	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
106	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
107	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
108	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
109	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
110	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
111	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
112	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
113	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
114	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
115	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
116	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
117	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
118	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
119	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
120	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0